

自治連だより川越



- 発行一川越市自治会連合会
- 事務局一川越市役所 地域づくり推進課内
川越市元町1-3-1 Tel 224-5705(直通)
- ホームページ <https://kawagoejichiren.jimdo.com>

主な記事

- 2面…水害のその後（川越キングス・ガーデン）の復興状況
- 3面…第一支会の紹介
- 4面…地域で気持ちよく過ごすために
編集後記

市長から退職役員へ感謝状を贈呈

8月19日（木）、川越市役所において自治会連合会退職役員への感謝状贈呈式が執り行われました。

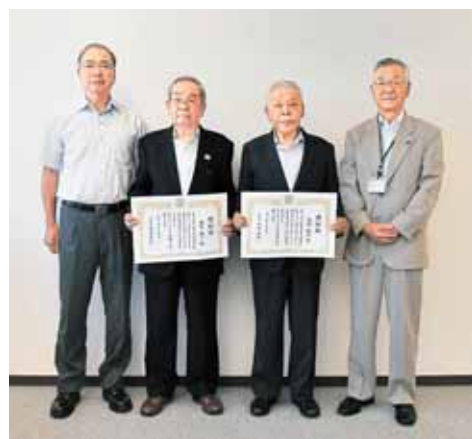
以下、本郷会長及び高橋会長から一言ずついただきました。

本郷誠二会長：このたび、凶らずも市長から感謝状をいただきました。この感謝状は、地元の自治会員各位をはじめ、長年にわたり浅学非才な私をお支えくださった方々に授与されたものだと私は考えております。

私は、今後も中原町2丁目の自治会長として、安全・安心の地域づくりのために微力を傾注してまいります。ありがとうございました。

高橋敏明会長：2009年（平成21年）脇田町自治会長に就任し、2013年（平成25年）から8年間、自治会連合会の役員を務めてまいりました。

このたび、市長から感謝状をいただき、大変嬉しく思います。役員は退きましたが、今後も脇田町自治会長として、地域の皆様とともに自治会活動に邁進してまいります。



左から本間自治連会長、本郷会長、高橋会長、川合市長



川越市イメージキャラクター
ときも

永年勤続自治会会長・副会長への表彰

自治会連合会では、10年以上にわたり自治会活動にご尽力された自治会会長及び副会長に対し、感謝の意を込めて表彰状と記念品を差し上げました。なお、副会長については今年度該当者はいらっしゃいません。

氏名	勤続年数	自治会名
川田 幸男	15年	脇田新町

自治連「地域活動支援費」を活用した事業の成果

大東支会では、令和2年度に自治会連合会「地域活動支援費」の交付を受けて「啓発用のぼり旗（交通安全と防犯の2種類）の作成と地域巡回活動」を行いました。のぼり旗の目的は、安全対策の「見える化」で地域住民に注意喚起と意識づけをすることにあります。

防犯旗「不審者に注意」を不審者出現場所に掲げてからは不審者の出現が大きく減少し、児童生徒の安全通学に寄与しています。交通安全旗は、高齢者や児童生徒が交通難所を通る時に左右確認を必ず行うようになってきましたが、残念なことに車の運転手に対する効果はいま一步です。

大東支会は、「のぼり旗」設置・注意喚起事業は今後も継続して安全安心な「地域づくり」を行ってまいります。

第一支会の紹介

第一支会は川越市役所の北部にあり、神明町・宮元町・喜多町・志多町・宮下町一丁目・宮下町二丁目・城下氷川町の7自治会により構成されています。

主に「第一地区社会福祉協議会」を通じて各自治会より45名の方が社協役員として参加しており、社協の会長は1年交代です。

第一支会は年2回の支会会議と3か月に一度「第一支会報・レールNO,xx」を発信し連絡・報告をしています。最近では、各自治会長間ではPCメールにて報告を開始しました。

第一支会の各自治会では「世代間交流事業」として神明町（盆踊り大会）・宮元町（宮元町まつり）・宮下町一丁目（夏の夕べ）・宮下町二丁目（餅つき大会）・喜多町（バーベキュー大会）・志多町（志多町音楽祭）・城下氷川町（餅つき大会）を開催しています。

また、第一支会親睦ゴルフコンペを年2回開催し、20組80名の参加者によって親睦を深めています。神明町と城下氷川町は高齢者を対象に麻雀教室を開催しています。「川越氷川まつり」では氷川神社を中心にそれぞれの山車が挨拶回りをして、交流を深めています。



支会を構成する自治会の世代間交流事業の開催時には、自治会同士の交流を深めています。また、川越小学校・初雁中学校評議委員など地域の関連団体の委員も支会より推薦しています。

新河岸川の沿川には28の自治会があり、それぞれ2名の方が参加し、川越市環境対策課の協力を得て「新河岸川を守る会」として51年間活動を続けています。会の目的は環境浄化を事業として清掃活動・沿岸監視・啓蒙活動等を行っています。

新河岸川の桜も樹齢70年経ち老木となりました。次世代に向けて環境対策課と相談の上、桜の苗木を植樹する予定です。

城下氷川町・宮下町一丁目・宮下町二丁目の自主防災会では、「三町合同防災訓練」として川越北消防署・川越市消防団第一分団・川越市消防団女性分団のご協力をいただき、毎年9月に防災訓練を氷川町公園で開催しています。同時に全世帯に「安否確認」も実施しています。城下町・氷川町は町名変更前までは宮下町であり、山車運営をはじめ3自治会が現在も合同で行事を行っています。

新型コロナウイルス感染症により様々な事業並びに行事が中止となっていますが、来年は通常の生活ができるように願っています。また、来年は市制施行100周年となります。記念のお祝いと川越まつりを含め盛大に記念行事を開催したいですね。



水害のその後（川越キングス・ガーデンの復興状況）

2019年（令和元年）10月の台風第19号の災害復興状況第2段として、前回の寺尾地区に引き続き、越辺川の堤防の決壊で壊滅的な被害を受け、大きなニュースとなった下小坂の特別養護老人ホーム「川越キングス・ガーデン」の復興状況についてお知らせします。

被災後、施設では川越キングス・ガーデン建設委員会を立ち上げ、高台移設を決断し、2020年12月15日に川越市天沼新田の新建設地で復旧事業起工式を行いました。被災から1年2か月、待ちに待った再出発です。建物の機能は旧態依然ではなく、例えば災害に対して耐風水、耐火、耐震、非常時のライフラインの確保や感染症にも対応できる構造や設備を整えました。これによって災害時には地域の福祉避難所としての役割も担えるようになります。

新建設の竣工は本年12月15日を予定しています。川越キングス・ガーデンの新施設イメージ図を掲載しましたので、どうぞご覧ください。

最後に、入所者を一時受け入れしてくださった施設の皆様、工事車両の通行などにご理解ご協力をいただいた近隣住民の皆様に改めて御礼申し上げます。

※この記事は、「川越キングス・ガーデン建設委員会ニュース」等から抜粋させていただきました。

台風被害から約2年、本年12月にやっと新施設が竣工されるとのこと。これまでに多くの方のご苦勞があったことと思いますが、復興には時間と労力がかかることを改めて感じました。新施設では、入所者やスタッフの皆様、地域の方々が安心して過ごせるよう祈念申し上げます。

イメージ図



地域で気持ちよく過ごすために

自治会は、一定の地域に住む人たちが、住みよい豊かなまちづくりを目指して、地域における様々な問題解決に取り組むとともに、住民の連帯意識の向上に努めている、自主的な団体です。川越市内には、300近い自治会があり、それぞれの地域の実情に応じた幅広い活動を行っています。

長引く新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各自治会においても、例年であれば実施していた多くの事業がやむなく中止されたため、人と人とのつながりの機会が減っている方も多くいらっしゃると思います。

このような状況の中であっても、有事の際に一番頼りになるのは、ふだんから顔見知りの隣近所の方々だと思います。

今回は、地域で気持ちよく過ごすために、改めて必要と感ずることをお伝えします。



秋深き
隣は何を
する人ぞ
松尾芭蕉

よく話し合う

地域では、様々な環境で育った方が様々な生活をしています。一定のルールはあるかと思いますが、意見の食い違いは間々あることです。怒りを爆発させる前に、なぜ不快な気持ちがするのかが相手にきちんと伝えましょう。言い争わず、落ち着いてお互いのことを理解するための話し合いで解決することが大事です。

挨拶をする

慣れや気恥ずかしさもあって、意外と忘れてしまう挨拶。「こんにちは」「ありがとう」の一言を欠かさないようにして、挨拶はきちんと相手の目を見て伝えましょう。

怒りをコントロールする

些細なことで始まったけんかもエスカレートすると、つい心にもない一言で相手を傷つけてしまいます。そこから大きな溝ができてしまったら、お互い気まずい思いをすることにもなりかねません。後悔するような発言は絶対に口にしないためにも、自分の怒りを上手にコントロールすることが大切です。

人と人との関係同様、各支会、各自治会間の関係もお互いに気持ちよくありたいものですね。

編集後記

高齢者のワクチン接種(2回)は、ほぼ完了するも、若者の感染拡大は今も続いている中、一日も早く新型コロナが終息するのを祈るばかりです。

医療崩壊を防ぐため、また医療従事者の負担を減らすためにも感染者数を増やさないことが肝要であると思います。そのためには、社会全体が今やっている新しい生活様式(三密の回避・マスク着用・手洗い・換気・テレワーク・不要不急の外出自粛等)をこれから生きる知恵として厳守したいものです。
(K.K)